

< 第 1 回豊明市特別職報酬審議会議事録要旨 >

日 時 平成 15 年 1 月 15 日 (水) 午前 9 時 30 分 ~ 午前 11 時 40 分

会 場 市役所 3 階 政策審議室

出席者 委員 9 名 (相羽、伊藤、加藤、木村、鈴木、遠山、内藤、藤野、山口)

事務局 市長公室長、公室次長兼秘書課長、人事係長、堀井、深草

欠席者 1 名 (野村)

1 市長あいさつ

約 2% の人事院勧告があり、一般職員の減額は条例にて可決。特別職の報酬等については、皆さんで協議していただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

2 辞令交付及び委員紹介

代表で相羽様へ辞令交付。

3 議題

(1) 会長選出

委員の互選により山口委員に決定。

(2) 会長あいさつ

委員の皆様においては、慎重審議よろしく申し上げます。

(3) 会長職務代理選出

会長の指定により伊藤委員に決定。

(4) 諮問書手交

市長より会長へ諮問書朗読のうえ手交。

4 審議

(1) 豊明市特別職報酬審議会の会議の公開について

諮問書、答申書は公開。会議の要旨については発言者を単に委員として公開。配布資料の書類番号 3 については、1 ページの委員の住所、電話番号、11、12 ページの一般職の最高号給の額は塗りつぶして公開。書類番号 4 の都市別報酬審議会の状況は非公開。傍聴については認めないことで決定。

(2) 特別職報酬等の額等について

(委 員) 財務内容の数値はどうなっているのか？私の手持ちの資料では 12 年度実質収支比率はかなり高い。13 年度の数値は？

(事務局) 12 年度は 9.3% でしたが、13 年度は 6.6% となっております。

(委 員) 経常収支比率は？

(事務局) 12 年度が 79.2%、13 年度が 82% となっております。

(委 員) 財政が厳しい状況にあるのでは？今後どうなっていくかが問題。

(事務局) 経常収支比率が上がるということは、そういう一面もあるかと思えます。景気の低迷が一つの要因となっているのかもしれませんが。

(委員) 財政が悪化。今後も悪くなると思われる。報酬もそれなりに考えないといけないのでは？人件費は他市に比べて高いのでは？

(事務局) 本市の人件費は約4.5億円。支出の約3割を占めているが、544人の職員定数を超えないよう努力しています。他市と比べてですが、人件費の捉え方が問題となりますがそれほど高いとは思いません。

(委員) 住民の賃金が減るから市税も減る。豊明市の財政も厳しくなるのでは？

(事務局) 本市においては市税の44%が固定税、40%が市民税、6%が法人市民税となっています。他市に比べ固定資産税の割合が高いので景気の影響を受けづらい。しかし景気がよくなると収入増は見込めないと思われれます。

(委員) いろいろな意見を聞いていると報酬を上げることはできないのではないのか？

(委員) 15年度の税収入はどうか？

(事務局) 13年と14年の所得を比べると減少しているので、15年の税収も減少すると思われれます。

(会長) 流れとしては、下げるか、それとも据え置くか？

(委員) 各市の状況を見ると、かなりのところが据え置きと見て良いのでは？

(事務局) その通りです。

(委員) 現状どおりで良いのでは？

(委員) 据え置きで良いのでは？

(委員) 特別職の人件費は？

(事務局) 約2億3100万円。人勤後で約100万円下がり約2億3000万円となります。

(委員) 据え置きで良いのでは？

(委員) 次回、1%で報酬額がいくらになるのか？また2%では・・・といった表の作成と、収支比率等、交付税で使用する基準数字過去5年間分をまとめた表を作成してほしい。

(会長) 時間もかなり経過しましたので、本日はこれにて散会し、次回は1月29日

(水) 午前10時00分より本審議会を再開したいが、これにご異議ありませんか？

全委員異議なし

(会長) 異議なしと認め、本日はこれにて散会致します。長時間ご苦勞様でした。

午前11時40分散会